

令和3年度 十勝川中流部市民協働会議 活動記録 (22)

帯広工業高校3年生の防災授業

日 時	令和3年11月9日 (火) 12:30~15:20
場 所	帯広工業高校 2Fパソコン室
内 容	防災に関する知識を高めるために行っている活動も今年度3回目となります。北海道開発局と十勝川中流部市民協働会議からは河川防災について、帯広百年記念館からアイヌ民族について説明していただきました。
参加者	帯広工業高校 環境土木科3年生 40名 教員 3名 帯広開発建設部 治水課 1名 帯広百年記念館 1名 十勝川中流部市民協働会議 3名



事務局和田より授業について説明

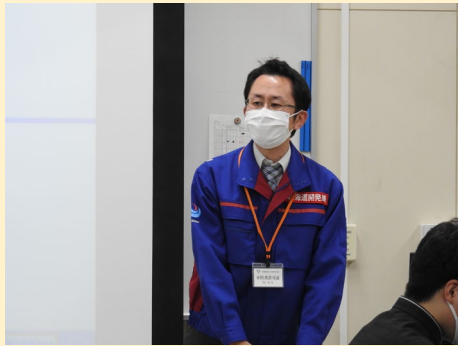


授業風景



授業風景

講義内容について



講義1：流域治水について期待すること（帯広開発建設部 治水課：橋本流域専門官）

- ・水害リスクが年々高くなってきている状況を気象データ等の資料から説明していただきました。また、リスクを把握するためのハザードマップや避難に必要な情報の入手方法等についても説明がありました。



講義2：地域防災システムについて（事務局：前田）

- ・十勝川中流部市民協働会議で運営している地域防災システムの使い方や入手できる情報について説明しました。最後に平成28年の出水や今年度の豪雨被害について、アンケート調査を実施しました。



講義3：アイヌ民族について（帯広百年記念館 学芸職員 山口翔太郎氏）

- ・ウポポイの紹介、アイヌ民族と川について説明していただきました。